

会議録

- 1 会議の名称 平成30年度第1回社会教育委員会議
- 2 開催日時 平成30年7月3日(火) 午後7時00分～9時12分
- 3 開催場所 熊取交流センター(煉瓦館) 講義室A
- 4 議 題 案件1 議長、副議長の選出について
案件2 平成30年度社会教育事業計画(案)の取りまとめについて
案件3 平成29年度社会教育事業報告について
その他

5 公開・非公開の別 全部公開

6 傍聴者数 0人

7 審議等の概要

○案件1について

- ・議長に福田芳則委員、副議長に村田和子委員が選出されました。

○案件2について

- ・平成30年度社会教育事業計画(案)について、平成30年3月の社会教育委員会議を踏まえた修正箇所等要点を事務局から説明を行いました。

【委員からの主な意見、質問等と事務局の返答】

- ・公民館・町民会館への指定管理者制度の導入について、「社会教育委員会議の意見を踏まえながら」とあるが、教育委員会からの諮問を受けて社会教育委員会議での検討を進めるということか。

→(事務局)

現時点のスタンスとしては、耐震改修等の整備の検討とあわせて指定管理者制度の導入の是非までを含めて総合的に判断、検討したいと考えている。現状では社会教育委員のご意見をお伺いしながら、と考えており諮問・答申までは検討していない。

指定管理者制度の導入については、最終的には教育委員会での意思決定になるかと思わ

れる。町財政部局との調整等も含めて今後進めていきたい。

・まず、耐震改修等の部分を含めて検討を進め、その検討作業を踏まえ、指定管理者制度については社会教育委員会議等の意見を聴きながら慎重に進めるという主旨で良いだろうか。

→（事務局）

相違ない

など

○案件3について

・平成29年度社会教育事業報告について、資料に基づき事務局から、説明を行いました。

【委員からの主な意見、質問等と事務局の返答】

・「社会教育団体への支援」について、こども会への加入地区が2地区減少している。既に取り組みられていると思うが、この減少に歯止めをかけることはできないか。

地域単位でのこども会は存在しているが、連合に加入していないところがある。大阪府の安全共済会による行事参加者の安全確保がメリットであると思うが、こども会を含む地域のコミュニティ団体の減少を止める何らかの取組はできないか。

数年前に自治会アンケートを実施したと聞いているが、その後分析等しているか。

→（事務局）

こども会については、大阪府の安全共済会への加入というメリットがあり、そういった連合の良さもPRしながら連合への参加を呼びかけたい。

こども会の役員の方にお話しを聞いたところ、役員に当たることを忌避して参加しないという方が多い。複数の地区をあわせてこども会に参加できるようにするなど工夫について、委員の皆様のご意見をお伺いしたい。

・どの団体も厳しいという現状もあるが、このような意見があったとことを念頭において取り組んでもらいたい。

・国動向を見ると、「障がいをもっている方の生涯学習」が1つの大きなテーマになっている中、図書館における障がい児に向けた事業は先進的であり、子どもの読書活動優秀実践図書館として文部科学大臣表彰を受けたことは評価できる。

予算やマンパワーが削減されている厳しい状況であるが、国の動向をリードするような「攻める社会教育」を実現してもらいたい。

など

○その他

- ・第4次生涯学習推進計画の特色ある取組の進捗状況について事務局より報告を行いました。

8 会議の情報	名称	社会教育委員会議
	根拠法令等	社会教育委員会議運営規則
	設置期間	昭和57年4月1日～
	所轄事項	教育委員会の社会教育に関する諮問に応じ、これに対して意見を述べること。
	委員数	9人
9 担当課	生涯学習推進課	